

全体会記念講演

【講師】 黒川 伊保子 氏



株式会社感性リサーチ 代表取締役
人工知能研究者、感性アナリスト、随筆家
日本ネーミング協会理事、日本文藝家協会会員

【演題】 心のトリセツ

～「逃げ癖」を「意欲」に変える脳科学～

●プロフィール

1959年 長野県生まれ、栃木県育ち。

1983年 奈良女子大学理学部物理学科卒。

1988年ごろから、ヒトと人工知能の対話の研究を始める。その最初の開発ミッションで、1991年4月、全国の原子力発電所で稼働した女性司書AI(大型汎用ビジネス環境では「世界初」と言われた日本語対話型インタフェース)を実現している。この研究の途上で、「情がからむとっさの」対話スタイルに男女差があることを発見。男女の脳の「とっさの使い方」の違いの研究を始める。やがて、語感の正体が「ことばの発音の身体感覚」であることを発見。AI分析の手法を用いて、世界初の語感分析法である「サブリミナル・インプレッション導出法」を開発し、マーケティングの世界に新境地を開拓した、感性分析の第一人者。

感性研究からくりだされる男女脳の可笑しくも哀しいすれ違いを描いた随筆や恋愛論、脳機能から見た子育て指南本、語感の秘密を紐解く著作も人気を博し、TVやラジオ、雑誌にもたびたび登場。アカデミックからビジネス、エンターテインメントまで、広く活躍している。

主な著書に、『妻のトリセツ』『家族のトリセツ』などがある。

●講演について

今回、全国大会テーマに「学びの変革」を挙げている。急激な変化が予想される今後の社会情勢を乗り切るために、保護者も子供も新たな学びが必要という思いから設定した。学びを支える大きな柱は、時代の変化に対応し、困難にであってあきらめず、自らを変えていこうとする意欲である。今回の講演はこの問題に脳科学の立場から迫っていくものであり、新しい時代を生きる子供たちの育成に大きなヒントを与えてくれるものと期待できる。